

4 洗堰散策コース 約 5.6km

自然とたたかいながら、ひたすら貧苦に耐えて開拓し続けてきた先人の歩みをたどって、大我麻神社から、今は、流れる川も静か。楠西堤、比良堤防、緑地公園として整備された新川洗堰までの散策路。



① おおがまじんじや 大我麻神社

大蒲新田開拓の祖、佐々木磯吉が、文政年間（1818～29）に勧請したといわれる。境内に大蒲新田開拓の先駆者の記念碑がある。



② くすのきにしつづみ 楠西堤

寛延 2 年～宝暦 13 年（1749～63）15 年に近い年月を要して完成。平成 12 年 9 月におこった東海豪雨のため、堤防は補強工事が行われた。現在は、遊歩道として整備されている。

③ しんめいしや 神明社

喜惣治新田開拓当初、国枝喜惣治が伊勢神宮から天照大神を奉受して祀ったといわれる。一説には、開拓の始祖林平八の夢枕に立った神のお告げに基くともいわれる。

くにえだきそうじ 国枝喜惣治

宝暦 13 年（1763）、愛知郡戸部下新田から移住、この地を買い取り、堤防を築いて、開こん事業をおし進めた。地元の人々は、この功績を記念し、残すため喜惣治新田と名づけた。

④ みずのせんのうえもん 水野千之右衛門 顕彰碑

庄内川出水による被害を防止した洗堰・新川開さく治水碑。水野千之右衛門は、工事の普請奉行でその偉業を顕彰したものである。



⑤ じゃいけ 蛇池

大蛇が住むと聞いた若き日の織田信長が、近村の村人を集め、池の水を乾し、自ら探したが蛇の姿はなく断念したと伝えられる。蛇池の主竜神に因んだ櫃流神事が毎年 4 月第 2 日曜日に行われる。



⑥ しんかわ あらいぜき 新川 洗堰

洗堰は、庄内川右岸堤防の一部を切り落として造られた堰で、庄内川出水の際、これを新川へ流す重要な役割を果たした。大飢饉下の天明 7 年（1787）に完成し、庄内川流域の災害を防ぎ、開拓を促進した。

市バス 如意車庫前 → 1,100m → ①大我麻神社 → 500m → ②楠西堤 → 400m → ③神明社 → 700m → ④水野千之右衛門 顕彰碑 → 1,500m → ⑤蛇池 → 900m → ⑥新川 洗堰 → 500m → 市バス 新川中橋